しょしかんてつ
初志貫徹

「切磋琢磨（せっさたくま）」（論語）とは「石を削り、玉を磨くように、勉め励んでやまないこと」の意味です。
※長い夏休みに入りますが、よきライバルを見つけ、四中生よ、文武両道に励んでほしいですね！

学校教育目標
夢と志をもち、実現に向かって
自ら努力し続ける生徒の育成

八代市立第四中学校だより
第５号　令和５年７月１８日
文責　校長　沖田　龍藏

「楽しみな夏季休業日に、充実の１学期をじっくり振り返って」！

充実の１学期が２０日の終業式をもって終わります。その後、長期の夏季休業日に入りますが、学習面では、まず学校からの課題に計画的に取り組み、本市から貸与されているタブレットを活用した自主学習や読書に親しんだり、博物館、県立美術館に出かけたりするのもよいかと思います。「人生は長くなったが、志を得るには短い。」と言われます。この夏に、１学期を自分なりにじっくり振り返ってみてください。今年度は、年度当初（４月１０日付け）にお知らせしたとおり、学びの評価２期制を導入したことで、暑い中ではありますが、休み直前まで余裕のある普通日課でキャリヤ教育等を充実させることができました。前期の通知表は１０月１０日をめどに配付しますが、県学調・市学調、定期テスト等の結果は随時ご家庭に配付していますので、学校からの教科指導と家庭での声かけ等を連携して行っていただき、子供の「確かな学力」につなげたいと思います。

７月３日にSDGｓに取り組む地元企業、FKGコーポレーション社長　福岡大造　氏による「職業講話」を行いました。お礼の言葉を述べた生徒会執行部、澤村さんをはじめ、多くの四中生が講話をとおして、自らの生き方を見つめ直していました。その中から、「社会で通用する武器を身に付けるためには、今のうちから時間をしっかり守ったり、自らあいさつをしたりすることが大事で、大人になった時、そのことが役立つことがわかりました。（１年生）」、「夢を叶えるためには、日頃の生活の中で、マナーやあいさつ、誠実さや素直さを意識した生活を送ることが大事で、それができていない時は、自分を見つめ直して、身近にいる人（相手）を笑顔にできるような生活をしていきたい。（２年生）」、「実社会での頭のよさが大切」という言葉が心に残った。来年から働こうと思えば、働ける年齢となり、周囲の人から信頼されたり、かわいがってもらえたりするには、マナーや礼儀を今のうちから改め、社会に貢献できるような人になりたい（３年生）。」　このように、中学生として、今の立ち位置から、将来、どんな社会人になりたいかと自分の事として捉えていたことを嬉しくもあり、たのもしく感じました。また、３年生は「いきいきサロン」で地域の高齢者の方々とゲームや会話での交流を、１１日・１２日には「上級学校説明会」がありました。さらに夏休み中の三者面談や高校体験入学と続きます。２年生は１１日～１３日の職場体験をとおして、社会との貴重なふれあい体験を行いました。最後に、県中体連大会が１６日から開催されていますが、空手道の３年吉坂くん（個人組手）が、見事に優勝し、九州大会・全国大会出場を決めました（空手形の部、２年宮坂くんも全国大会出場が決定）。今週末からの後半戦も各部ともに二人に続いて、高みを目指しがんばってください。「チーム四中」、皆で応援しましょう。

※詳細は「**八代市立第四中学校 HP**」**で検索を！**